



オリーブ便り Olive News

2020.04.01

No.430



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 田宮 隆

基本理念

患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

特定行為研修センターが設置されました! ~特定行為研修によりタスクシフトを推進します!

香川大学医学部附属病院 特定行為研修センター

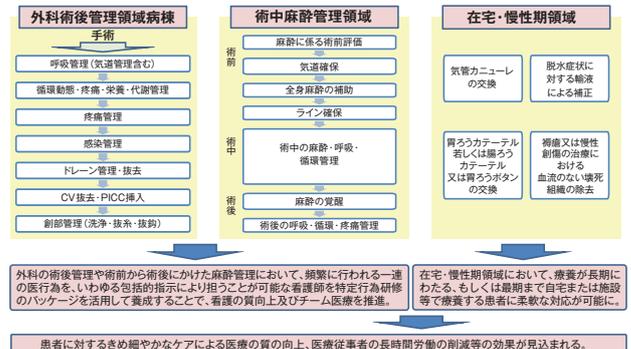
本院は2020年2月26日付けで厚生労働省から特定行為研修指定研修機関に指定され、2020年4月から看護師を対象とした特定行為研修を開講します。本研修の体制整備を目的として、2019年11月21日付けで特定行為研修センターを設置しました(図1)。センターには、特定行為研修教育研修部門および特定行為業務実践支援部門の2つの部門を設けています。これらはそれぞれ、特定行為(急性期医療や在宅医療に関する38行為21区分)の研修と、研修を修了した看護師が特定行為を円滑に実施できる体制を構築することを目的としています。4月からの特定行為研修では、3つのパッケージ(外科術後病棟管理領域、術中麻酔管理領域、在宅・慢性領域)が、それぞれ2名を定員として開始します(図2)。看護師は「療養上の世話」と「診療の補助」を行うと保助看法で定められていますが、特定行為研修修了者は、「診療の補助」として、医師による「手順書」に基づき特定行為を実施することが可能となります。改正保助看法では、特定行為の実施には「実践的な理解力、思考力および判断力ならびに高度かつ専門的な知識および技能が特に必要」とされています。特定行為研修は、2025年に向けた「質が高く効率的な医療提供体制」の確保、いわゆる三位一体改革(地域医療構想の実現、地域間・診療科間などの医師偏在解消、医師・医療従事者の働き方改革)への取り組みの一環として、整備が進められたものです。特定行為を実践できる看護師の育成が、医療の安全性および質の向上、チーム医療およびタスクシェアの推進、医療従事者の長時間労働の削減に貢献するものと期待されています。政府は2024年までに1万人程度の研修修了者の養成を目指していると言われています。

本制度の整備が、本院においても、患者さんに必要な医療を安全かつタイムリーに提供できる、人生100年時代を「医療」と「生活」の両面から患者を捉え、それぞれの専門性を軸に役割を發揮できる看護師の育成の一助となることが期待されます。現在、チーム医療を推進するうえで、次なるステージ「医療は医師だけでなく多様な職種の連携によりチームで提供されるものであること、患者へのきめ細かなケアによる質の向上や医療従事者の負担軽減による効率的な医療提供を進めること」へのステップアップが急務となっています。看護師という職種には、チーム医療推進においてまさに中心的役割を担うことが強く期待されています。スキルを活かしながら急性期から在宅まで、多方面で高度な実践力を發揮できる看護師を目指す方に、特定行為研修を強く推奨いたします。詳細は特定行為研修センターまでお問合せ下さい。応募をお待ちしています。

図1



図2



部長の横顔

座右の銘、ポリシー

常に心掛けていることは「バランス」です。今、手術医療はかつてない急激な変革の時を迎えています。それ故にアンバランスな部分が目立ちます。医療の本質や未来の幸福より、近視眼的な利益が優先されているようにも感じます。そこには確かなバランス感覚が要求されるのでしょうか、手術部の運営でも管理の視点と現場の視点、多職種それぞれの思い、利用する診療科間などで互いに納得できるバランスが必要なのだと思います。

手術部紹介

急性期病院に求められる「外科的治療を極力多く、効率的に行い、職員に過剰な負担をかけない」は容易ではありませんが、成すべき事です。当院では侵襲の大きな手術、極めて緻密な手術、特に急を要する手術など多彩な最先端の手術が行われていますが、その全てに安全性や円滑な実施を担保する必要があります。そのためには手術同士の、使用する物品の、あるいは関係する部署間での調整が重要になりますが、これが手術部の役割です。



香川大学医学部附属病院
手術部
手術部長 白杵 尚志

師長の横顔

座右の銘、ポリシー

「的確な判断、迅速な行動、誠実で温かみのある看護」

手術部に配属が決まった時に目標としたことです。

手術部では、患者さんはもちろんですが、医師や看護師も緊張して手術に臨みません。患者さんが安心して穏やかに手術に臨める環境づくり、手術チームが最高のパフォーマンスを発揮できるような看護師の育成と環境づくり、そして手術室看護師がいきいきと看護できるような支援をしていきたいと思っています。

手術部紹介

手術部では全ての外科系診療科の手術が行われ、医療技術の進歩による新たな術式や機器に対応できるよう、看護師は日々研鑽しています。患者さんは生まれたばかりの赤ちゃんから100歳の患者さんまでと年齢の幅が広く、病態も様々です。手術は患者さんにとって人生で最もストレスの大きな出来事です。患者さんに直接関わる時間は短いですが、安全にそして安心して手術をうけていただけるよう、患者さんひとりひとりに向き合い看護をしています。



香川大学医学部附属病院
手術部
師長 上井 悦子



手術部スタッフ 集合写真

香川大学医学部附属病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 瀬尾 佳織・大東 慶子

脳卒中は厚生労働省が発表した人口動態統計によると、平成29年度の主な死因別死亡数の割合では脳血管疾患は第3位です(平成30年度は第4位)。くも膜下出血は発症して1/3は死亡、1/3は寝たきり、1/3が社会復帰できるといわれています。脳梗塞も大きな血管が詰まると、死に直面する危険性が高まります。また脳卒中は寝たきりの原因となる疾患、第1位です。脳卒中を発症すると頭からの指令がうまく伝わらない、指令を出すことができない状態になるので、手足が動かない、話せない、感情のコントロールが出来ない、社会生活を送れないといった症状が残ります。脳卒中は再発する病気です。繰り返すことで後遺症が重くなり、最終的に寝たきりとなるのが脳卒中が怖いといわれている要因です。

脳卒中の危険因子としては①高血圧、②糖尿病、③脂質異常症、④心房細動、⑤喫煙、⑥飲酒に加えて加齢があります。とくに①～③の高血圧、糖尿病、脂質異常症は3大因子といわれ、脳卒中発症予防に非常に重要です。

大事なことは、高血圧にならないこと、自覚症状がなくても放置せず治療を続けることです。高血圧に気を付けていく上で大事になるのは、自分の血圧を知ることです。自分で血圧を測る習慣をつけることで、血圧の変動に早期に気が付き対処することが出来ます。毎日同じ時間に血圧を測定してメモをとる習慣を付けていくことが大事です。肥満を解消することも大事です。体重を1kg減らすと1.5mmHg程度血圧が下がると言われており、収縮期血圧が10mmHg下がると脳卒中の発症率が約30%下がるといわれています。ただし筋肉が落ちると寝たきりにつながることや普段の健康に害を及ぼすので、筋肉は落とさずに肥満を解消することが大事です。

次に禁煙です。タバコは、百害あって一利なしと言われていますが、脳卒中においても良いことはありません。タバコは動脈硬化を進行させて脳卒中を起こしやすくなります。飲酒については、少量の飲酒は脳梗塞を予防すると言われています。脳出血やくも膜下出血については飲酒量に比例して危険性が高まるとされています。脳卒中予防にお勧めの運動は有酸素運動です。普段運動習慣がない場合は散歩などの軽い運動から始めてください。

最後に脳卒中の治療は時間との戦いです。いかに早く治療をスタートさせるかが予後を決めます。脳卒中の疑いがあると思われたら一刻も早く救急車を呼ぶことが大切です。

主な死因別死亡率(H29,人口10万対)

	脳血管疾患	くも膜下出血	脳出血	脳梗塞
全国	88.2	9.9	26.2	49.8
香川	97.3(27)	8.7(39)	28.3(23)	58.9(21)

主な疾患の受療率(H26,人口10万対)

	糖尿病	高血圧	脳血管疾患	脳梗塞	腎不全
全国	191	533	199	131	120
香川	282(2)	641(14)	220(20)	150(20)	153(17)

※第48回イキイキサめき健康塾(令和元年6月9日開催)の講演内容を要約したものです。



詳しくはこちら

出前水族館が医学部附属病院にやってきました!

香川大学医学部 総務課

香川大学瀬戸内圏研究センターの協力のもと、医学部附属病院の玄関ロビーで出前水族館を2020年2月4日から10日まで実施しました。

今回のテーマは「冬の味覚」、牡蠣の養殖場を水槽の中に再現してみました。牡蠣棚に生息する魚たちを紹介するとともに、牡蠣の餌となる植物プランクトンの重要性を説明しております。

また、病院に来られた方が、水槽の中の生き物を見て、癒されて、元気になって下さったという思いで設置させて頂きました。



臨床研究に関するご案内

香川大学医学部 倫理委員会委員長

香川大学医学部附属病院 治験審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院 臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織（内視鏡検査で検査のために採取した組織等）又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究（研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究）に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究（過去の事象について調査する研究）の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー 2020.4~2020.5月 予定表

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となるイベントがあります

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
4/12	11:00-12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾 (高齢者のお家でできるスキンケア)	総務課	(087)891-2008
5/10	11:00-12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾 (腸を丈夫にしよう!腸内細菌叢と子どもの健康)	総務課	(087)891-2008

編集委員会 (50音順)

(2020年3月現在)

阿部(看護)、荒井(検査)、井町(外来)、大高(医療支援)、樫原(管理)、笹川(放射線)、常森(病棟)、
富田(経営企画)、芳地(薬剤)、前川(医事)、南野(副病院長)、横井(医療情報)、横川(総務) [委員長 田宮病院長]